THE NIKKAN KENSETSU TIMES

2021（令和3）年
9月17日（金曜日）第15060号
千葉版

昭和41年12月14日　第３種郵便物認可
©日刊建設タイムズ社2021

日刊建設タイムズ

www.k-times.com

発行所　日刊建設タイムズ社
〒260-0854　千葉市中央区長洲1-33-15
タイムズビル
電　話043-225-5911　ＦＡＸ043-224-4136
Eメール info@k-times.com
日刊（土・日・祝日休刊）
購読料　1か月　8,316円（うち税616円）
6か月 49,896円（うち税3,696円）

きょうの紙面

公共　富津市学校給食調理場 榎本建築に設計を委託　2
公共　柏市／第六水源地３号配水池22年度に内部工　2
公共　富津市／旧小久保ダム利活用で事業者を公募　2
公告　社会福祉法人佑啓会のグループホーム新築工　6
入札　県下水道公社／二俣新町幹線熊谷JVが5.8億円　5
入札　圏央道利根川橋下部を2.6億円で工建設が落札　4

水産総研C再編など推進

投資的経費 7.4%増294億円

県農林水産部の21年度施策概要

県農林水産部は、2021年度版の「農林水産関係施策概要」をまとめた。それによると、同部の一般会計予算額（6月補正予算後）は530億7331万円で、20年度当初予算と比較して3・4%増となった。一般会計の投資的経費は対前年度当初比7・4%増の294億3070万円。投資的経費のうち、普通建設費は同2・3%増の237億516万円。主要事業では、水産総合研究センター再編整備事業、土地改良事業、漁港建設事業などに取り組む。

各課別の予算額は①農林水産政策課121億9622万円（対前年度当初予算比3・2%減）②団体指導課9億7330万円（同6・6%減）③生産振興課25億9388万円（同9・5%減）④流通販売課3億2447万円（同2・7%減）⑤担い手支援課21億9682万円（同30・2%増）⑥農地・農村振興課38億3453万円（同0・6%増）⑦安全農業推進課2億819万円（同13・1%増）⑧耕地課183億2689万円（同8・7%増）⑨畜産課26億9921万円（同110・7%増）⑩森林課35億904万円（同4・6%増）⑪水産課13億7946万円（同2・2%減）⑫水産局盤整備事業21億8647万円▽農地防災事業22億5125万円▽直轄事業負担金39億3549万円。農地防災事業では、災害に強い農業農村の構築に向け、湛水被害を防止するための排水施設の整備や老朽化した農業用ため池の改修、地すべり防止施設の整備など、防災・減災対策工事を実施する。

漁港建設事業は▽拠点漁港整備事業18億6010万円▽水産基盤ストックマネジメント事業13億5250万円▽漁港漁村基盤整備事業1億3000万円▽市町村営漁港建設事業8270万円▽漁港災害復旧事業1億500万円――を盛り込んだ。

このほか、浜の活力再生プラン推進支援事業として、船橋市漁業協同組合が整備する新たな製氷・貯氷施設の整備を支援する。事業費は製氷・貯氷施設の実施設計、基礎工事費として3203万円を措置した。施設の能力は製氷施設が日産10t、貯氷施設が同201。

するため、老朽化した施設の再編整備に取り組む。21年度は、事業費1億4755万1000円で、東京湾漁業研究所の実施設計や種苗生産施設基本設計等を実施する。事業費の内訳は東京湾漁業研究所の実施設計等7486万6000円、種苗生産施設基本設計等7270万5000円。

また、土地改良事業174億1463万円、漁港建設事業40億1989万円、山地治山事業7億4608万円、森林整備事業3億6921万円などを計上し、事業を推進する。

土地改良事業の内容は▽県営用排水改良事業28億4440万円▽経営体育成基盤整備事業21億8647万円▽農地防災事業22億5125万円▽直轄事業負担金39億3549万円。農地防災事業では、災害に強い農業農村の構築に向け、湛水被害を防止するための排水施設の整備や老朽化した農業用ため池の改修、地すべり防止施設の整備など、防

県県土整備部

創誠会4204㎡特養等 開発審査会が5件同意

県県土整備部都市計画課は16日、第488回開発審査会を書面開催し、市川市柏井町4―391―2ほかにおける社会福祉法人創誠会（船橋市二和西6―3―20）の特別養護老人ホームなど5件の開発行為・建築行為に同意した。

社会福祉法人創誠会による開発行為の諮問者は市川市長。申請地は市川市道0236号線沿いの敷地面積4748・09㎡。地目は宅地、山林、畑。敷地の北西側にS造3階建て、建築面積1698・13㎡、延べ床面積4203・83㎡の特別養護老人ホームを建設する。北東側に駐車場11台と駐輪場20台、南側に駐車場8台、また敷地の外周の一部に緑地718・58㎡を整備する。

㈱コスモスイニシア（東京都港区芝5―34―6新田町ビル）は、木更津市下郡字下根田646―1ほかで建築行為を行う。諮問者は木更津市長。現地は富岡小学校の跡地1万7646㎡。地目は学校用地。宿泊施設への用途変更にあたり、校舎の南側に建築面積4748・09㎡の2人用キャビン5棟と、同19・74㎡の4人用キャビン9棟を新設する。既設建物を含めた規模は、建築面積706・86㎡、延べ床面積

日造協と県造園緑化協

職長と安衛責任者 統合し講習会開く

（一社）日本造園建設業協会千葉県支部（伊藤高広支部長）と（一社）千葉県造園緑化協会（角田敬一会長）は15・16日の2日間にわたり、千葉市美浜区の高度ポリテクセンターで「職長・安全衛生責任者教育講習会」を開いた。受講者は約30人。受講対象は、職長の職務に就いている者（就く予定の者）、または安全衛生責任者に選任されている者（選任される予定の者）。

講師を務めたのは、職長教育の第一人者で、日造協「技術アドバイザー」の野村徹郎氏。造園建設業の事例や演習を含めた内容とし、「職長教育」と「安全衛生責任者教育」を統合した。

造園建設業の事例演習を含めた内容

講習項目は、第1日目（15日）が「職長・安全衛生責任者の役割」「作業員に対する指導及び教育の方法」「危険性または有害性の調査等と低減措置等」。第2日目（16日）は「職長・安全衛生責任者が行う安全施工サイクル」「関心の保持と創意工夫を引き出す方法」「異常時、災害発生時における措置」。造園CPD認定プログラムで、2日間の延べ講習時間は14時間。2日目の講習終了後には、修了証を交付した。

造園CPD認定

建設現場等で直接労働者を指揮する職長は、労働者の健康と安全を確保するうえで大変重要な立場にある。このため、労働安全衛生法では、事業者が職長等に対して、安全衛生教育（職長教育）を行うように規定。

通常50人以上の混在作業現場において、関係請負人側が選任する安全衛生責任者は、混在作業現場で義務付けられる統括安全衛生管理の関係請負人側の責任者として、重要な職務を担う。

責務や役割学び作業の効率化を

第1日目の開講に先立ち、主催者を代表して伊藤支部長は「自治体の中には近年、入札参加資格要件として、職長教育の修了証の提出を求めるところがある」と言明。2日間の講習により「職長・安全衛生責任者の責務や役割等をしっかりと学び、工事現場における働く人の健康と安全を確保して、作業の効率化を図って頂きたい」と呼びかけ、あいさつとした。

伊藤・日造協千葉県支部長

講師の野村・技術アドバイザー

県空調衛生工事業協会

京葉工高で出前講座 建設設備に興味を

（一社）千葉県空調衛生工事業協会は16日、県立京葉工業高等学校の設備システム科1年生40人を対象とする出前講座を同校コンピュータ教室で開講した。テーマは「建設設備技術者と地球環境保全」。金子達也副会長（大和設備工業㈱）は「新型コロナウイルスがまん延し、非接触体温計などの開発が進んでおり、空調設備においても対策が重要」と述べた上で「進学や就職に向け、建設設備に興味を持ってほしい」と期待を寄せた。

出前講座は2部構成で行われた。第1部では、竹下脩平氏（㈱LIXIL千葉支社）が「最新の節水技術」、また徳弘洋子氏（日本女子大学・神奈川大学非常勤講師、徳弘建築設計事務所）が「ストップ・ザ・温暖化」をテーマに講義を行った。

竹下氏は、建設設備業界で使われている節水便器を紹介し、「千葉市においても、ZOZO本社屋などに水を使用しない便器が設置されている。節水便器や無水便器の技術は今後も普及していく」との見方を示した。徳弘氏は、建築設備技術者が設計・施工・管理など、それぞれの立場で省エネルギーや資源の保全に努めることが大切と説明した上で、「人間の健康診断のように、建物についても定期的に点検し、記録する。建設設備は人間の臓器などにあたる重要な部分であり、意識を持って設備設計に携わってほしい」と呼び掛けた。

第2部では、若手社員の栗山啓佐氏（不二公業㈱）と木下朱里氏（東洋熱工業㈱）がパネリストとなり、受講生も交えて「設備工事の大切さと環境対応について考える」をテーマとしたパネルディスカッションを実施。徳弘氏が司会を務めた。

受講生から必要な資格や効率の良い勉強法などの質問が上がり、栗山氏と木下氏は資格取得の経験や利点について説明。さらに、仕事の楽しみや苦労を語った。

パネルディスカッションの様子

金子達也副会長

23年度の着工へ 約1ha親水広場

千葉市

千葉市は、緑区辺田町および平山町に、面積約0・98haの「（仮称）親水広場」を整備する。基本設計業務委託の希望型指名競争入札手続きを開始しており、22日までの入札参加申請期間を経て、10月7日に開札に至る。2022年度第2四半期までに実施設計を委託し、同年度内に完了させ、23年度に着工する想定となっている。

計画地は、主要地方道生実本納線と主要地方道浜野四街道長沼線が交わる辺田十字路交差点の北西側で、市道辺田町7号線および支川都川に挟まれた市有地。18～20年度を期間とする新基本計画第3次実施計画においては、斎場および平和公園周辺の良好な環境づくりのため、親水広場などの整備を進める方針を掲げた。

サクラを植え、芝生を張り、多目的広場として整備。さらに、児童向けの遊具、ベンチ、あずまや、公衆トイレ（男性用・女性用、多目的）を配置する方針。防災施設の設置やバリアフリーなどを検討するとともに、ワークショップにより市民の意見を聴取して計画をまとめていく。

基本設計業務の業種は土木関係建設コンサルタント業務（造園）。委託期間は、契約締結日の翌日から22年3月25日まで。

業務内容は、与条件の細部検討、ワークショップの開催（1回）、諸施設の検討および設定、基本設計図の作成、概算工事費の算出、基本設計説明書の作成、打ち合わせ（計3回）。

このほかの議案は、白井市長が諮問した既存集落内の自己用住宅と、我孫子市長が諮問した既存適法建築物の増改築等。

防犯管理棟を建設する。

諸問者は松戸市長。申請地は松戸市道主2―79号線沿いの資材、砕石、重機、植栽土置き場の北側の敷地面積69・7㎡。地目は畑。軽量S造平屋建て、建築面積および床面積20・47㎡の

住所
貴社
電話・
E-m　㊞
円
※千葉県以外の地域をご購入の際は、別の申込書をお送りいたしますので、お問い合わせください。お得なセット商品もございます。
お問い合わせ先　株式会社 日刊建設タイムズ社
TEL：043-225-5911　FAX：043-224-4136